取扱説明書

保証書付

DMS-1000(BK/WH)

壁掛け対応 薄型DVDプレイヤー

はじめに

このたびは壁掛け対応薄型DVDステレオ　DMS-1000をお買い上げ頂ましてまことに有難うございます。

- ■ この取扱説明書をよくお読みの上正しくご使用下さい。
- ■ 本取扱説明書には保証書が附属していますので大切に保管して下さい。
- ■ 付属品をお確かめ下さい。

目次

安全上のご注意　及び　ご使用にあったてのお願い	.....	2－4
主な特長　及び　付属品	.....	4
各部名称	.....	5－6
スタンド組み立て／本体への取り付け	.....	7
外部機器への接続	.....	7
DVD・CDディスクについて	.....	8
DVD操作前の機能設定	.....	9－10
DVDの基本操作	.....	10
CD及び　MP3-CDの基本操作	.....	11
DVD/CDのいろんな操作	.....	11－12
FMラジオ受信	.....	12
SDカード/USBメモリーについて	.....	13
SDカード/USBメモリーの再生	.....	14
CDからUSBメモリーへMP3音楽録音	.....	15
製品仕様	.....	16
故障かな？とおもったら	.....	17－18
メモ欄	.....	19
保証書	.....	20



MPEG4/DVD/VCD/CD/MP3

DVD VIDEO　SD CARD　MMC MULTI MEDIA CARD　USB　MPEG4　Kodak Picture CD COMPATIBLE　mp3

安全上のご注意

■ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。
■お読みになった後もいつでも見れるところに必ず保管して下さい。

絵表示について

この取り扱い説明書には、使用者が製品を安全に使われる為に理解し易い様に色々な絵表示を使用しています。誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。いずれも重要な内容ですので必ず守って下さい。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	記号は、禁止の行為であることを告げるものです。、図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	記号は、使用者の行為を指示強制したりする内容であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警告


禁止

交流100V以外の電圧では使用しないで下さい。＊火災・感電の原因となります。


禁止

＊本機に水をかけたり、濡らしたりしないで下さい。
＊本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置くと、火災・感電の原因となります。


禁止

本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、落としたりしないで下さい。 ＊火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。


禁止

電源コードやプラグを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないで下さい。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
＊コードやプラグの修理は販売店にご相談下さい。


接触禁止

雷が鳴っている時は、絶対にAC電源プラグに触れないで下さい。
＊感電の原因となります。

分解禁止



絶対に分解したり・修理・改造は行わないで下さい。（キャビネットも外さないで下さい。）
＊火災・感電の原因となります。
販売店で点検・整備・修理をご依頼下さい。


禁止

ぬれた手で電源プラグを抜いたり差したりしないで下さい。
＊感電の原因となります。


禁止

直射日光が当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かないで下さい。
＊ キャビネットや部品の故障の原因となったり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。

⚠ 警告


禁止

湿気や埃の多い場所には置かないで下さい。
＊火災や感電の原因となります。


禁止

振動する場所やぐらつく台の上、傾いた所等、不安定な場所に置かないで下さい。
＊倒れたり、落ちたりして怪我の原因となります。


禁止

本機に布をかぶせたりしないで下さい。
＊内部に熱がこもり、火災の原因と なりますので、ご注意下さい。
＊テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないで下さい。
＊本機を押入れなどの風通しの悪い狭いところで使用しないで下さい。

注意


注意

電源プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。
＊差込が不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。
＊抜く時は、コードを引っ張らずに、必ず電源プラグ本体を持って抜いて下さい。


注意

電源プラグのほこりや汚れを定期的に乾いた布でふき取って下さい。
＊プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁劣化となり、火災の原因となります。


注意

効果的な放熱の為に、他の機器との間は少し離して置いて下さい
＊間隔が不十分ですと、火災・故障の原因となります。ラック等に設置する時は、本機の前後左右天面から15cm以上のすきまを空けて下さい。


注意

各機器との接続のときは、必ず電源スイッチを切り電源プラグを抜いて、取扱説明書に従って接続して下さい。
＊それぞれの機器の取扱説明書をよく読み指定のコードを使用して接続して下さい。


注意

本機を移動する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、外部接続コードを外して下さい。
＊感電の原因となります。


注意

お手入れの際は、安全の為、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いて下さい。
＊感電の原因となります。


注意

長時間使わないときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。
＊火災の原因となることがあります。


注意

本機を落としたりして破損した場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。
＊そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 販売店に修理を依頼下さい。ご自身での修理は危険ですから、絶対にお止め下さい。 特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。


注意

本機の中に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源コンセントから本体の電源プラグを抜いて下さい。
＊そのまま使用すると、火災、感電の原因となりますので、販売店にご相談下さい。


注意

変な臭いや音がしたり、煙が出たらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。
＊そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理を依頼下さい。ご自身での修理は危険ですから、絶対におやめ下さい。

ご使用にあったてのお願い

■必ずお守り下さい。

左右及び天面、後面の間隔は15cm程度空け、通気の良いところに置いて下さい。
熱がこもる状態で使用されますと、保護回路が働き音声レベルが下がったり、内部部品が破損する恐れがあり危険です。

⚠ 定期的に内部の掃除が必要です。販売店にご相談下さい。

本機の内部にほこりがたまったまま長時間使用しますと、火災や故障の原因になることがあります。特に湿気の多くなる梅雨時期前に行うと、より効果的です。 掃除費用については販売店にご相談下さい。

- 本機は音楽などの音声を再生する目的で設計されております。 従って信号発生器やテストディスクの信号などを再生しますと、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因となる事があります。
- オーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。 本機は民生用のオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用オーディオインターフェース機器との接続は本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因となる事があります。
- ブラウン管式のテレビ等にスピーカーを近づけますと、映像がスピーカーとテレビ等の内部にある永久磁石の影響でゆがんだり、画面と色がにじむ場合があります。十分に間隔を取る様にして下さい。
- 本製品のラジオ受信時或いは再生中に製品本体の近くで携帯電話などをご利用になるとその電波により雑音が発生する場合があります。
  雑音が発生する場合は携帯電話などを機器から離してご利用下さい。故障ではありません。

主な特長

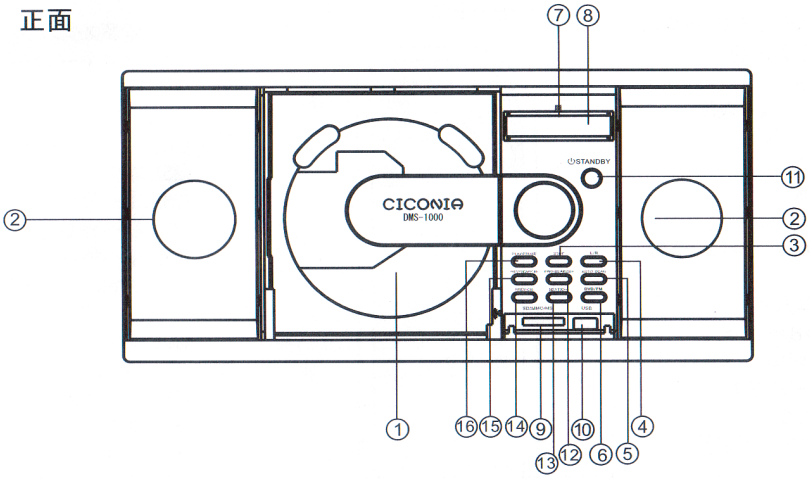
- 壁掛け対応の薄型デザイン
- 本格的DVDプレイヤー内蔵
  （MPEG-4,DVD,DVD-RW,DVD-R,DVD+R,CD,CD-R,CD-RW形式再生対応）
- VRモードのCPRM対応
- 同軸デジタルオーディオ出力
- 音楽CDをMP3形式音楽へダイレクト変換／記録機能
- SDカードスロット／USBインターフェース付
- MPEG4,MP3,WMA,JPEG再生対応
- FMラジオ（日本・海外両用対応）
- 日本語OSD表示

付属品

■リモートコントロール　■本体用スタンド　■AVケーブル　■取扱説明書　■単3形乾電池(2本)

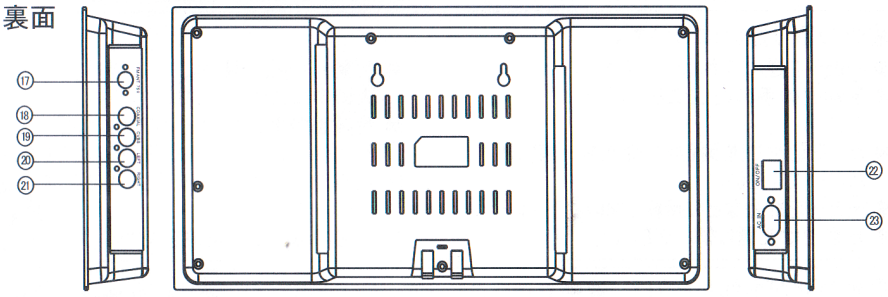
各部の名称

正面



1. DVD・CDドアー開閉
2. スピーカー
3. 停止（STOP ）
4. L/R（カラオケ音声切り替え）
5. オートスキャン
6. DVD・CD／FMモード切替
7. リモコン受信部
8. ディスプレイ
9. SD/MMCカードスロット
10. USB端子
11. 電源スタンバイ
12. 早送り／サーチ
13. チャンネルアップ／次に進む
14. チャンネルダウン／前に戻る
15. 早戻し／サーチ
16. 再生／一時停止

裏面

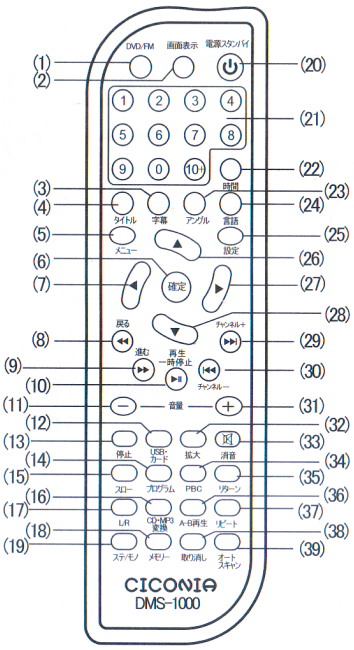


17. FMアンテナ端子（75Ω）
18. デジタルオーディオ出力端子（同軸）
19. 映像(CVBS)出力端子
20. 左チャンネル音声出力端子
21. 右チャンネル音声出力端子
22. 電源スイッチ
23. ACコード接続端子

各部の名称

(1) DVD／FMラジオモード切替
(2) 画面表示入／切
(3) 字幕設定
(4) タイトルメニュー表示
(5) メニュー表示
(6) 確認・確定
(7) 左に移動
(8) 戻る／早戻し
(2⇒4⇒8⇒16⇒32倍の切換)
(9) 前む／早送り
(2⇒4⇒8⇒16⇒32倍の切換)
(10) 再生／一時停止
(11) 音量ダウン
(12) USB／SDモード切替
(13) 停止
(14) プログラム設定
(15) スロー
(16) CD/MP3変換録音
(17) L/R
(カラオケ音声チャンネル切替)
(18) メモリー設定
(19) ステレオ／モノ切換
(FMラジオ時)

リモートコントロール



(20) 電源スタンバイ
(21) 番号キー
(22) 時間
(23) 角度
(24) 字幕言語設定
(25) 本体設定
(26) 上へ移動
(27) 右へ移動
(28) 下へ移動
(29) チャンネルアップ／次へ進む
(30) チャンネルダウン／前に戻る
(31) 音量アップ
(32) 拡大
(33) 消音
(34) 再生コントロール
(35) リターン
(36) A点とB点の設定／AB間反復再生
(37) リピート
(38) 取り消し
(39) オートスキャン

リモコン用乾電池について

電池の取り扱いについて。

- ㊉と㊀を逆に入れないで下さい。
- 乳幼児の手の届くところに置かないで下さい。
- 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使わないで下さい。
- ㊉と㊀を針金などで接続しないで下さい。
- 乾電池は充電しないで下さい。
- 加熱・分解したり、水などの液体、火の中に入れたりしないで下さい。
- 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない下さい。
- 乾電池の代用として充電式電池を使わないで下さい。
- 被覆のはがれた電池を使わない。

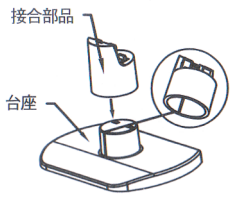
電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をして下さい。

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談下さい。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師に相談下さい。

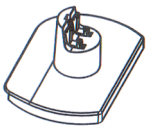
使い切った電池はすぐに本体から取り出して下さい。

そのまま機器の中に放置すると電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

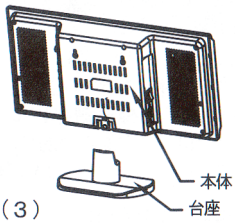
スタンド組み立て・本体への取り付け



(1)
接合部品にはガイド用溝が
切ってありますので、この溝と
台座のガイドを合わし、
台座に最後までしっかり
押し込んで下さい

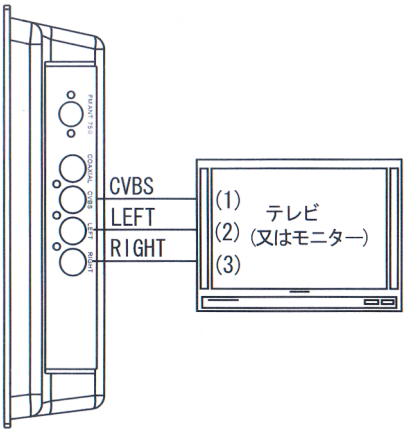


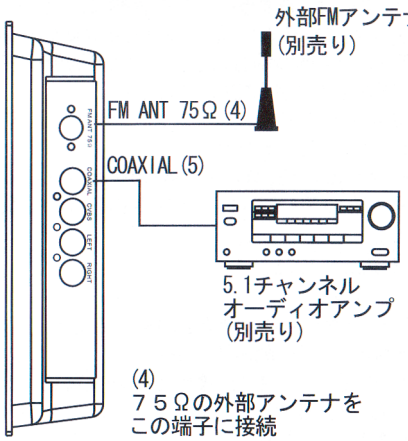
(2)
台座に取り付けた状態



(３)
組み立てたスタンドを
本体底部に差し込む様に
最後までしっかり取り付けます。

外部機器への接続





附属のAVケーブルを使用して、
(1)CVBSからテレビの映像入力端子に接続
(2)LEFTからテレビの左音声入力端子に接続
(3)RIGHTからテレビの右音声入力端子に接続

(4)
７５Ωの外部アンテナを
この端子に接続

(5)
COAXIAL端子と、アンプの
同軸デジタルオーディオ入力
とを接続(接続ケーブルは別売り)

■正しく接続されているか確認

(1)本機を接続したテレビ（又はモニター）
電源を入れる。



テレビ
(又はモニター)
一般放送画面

外部入力に
切り換える

(2)テレビ(又はモニター)の入力を
外部入力に切り替えると軌道画面が表示



起動画面

DVD・CDディスクについて

■再生できるDVD 及び CD

●音楽CD, CD-R, CD-RW 及び ISO9660に準拠したMP3-CD
※CD-Gはご使用になれません。
※本製品は、CDの標準規格に従って設計されていますので、規格外のCDディスクを使用した場合、動作しない場合があります。
※右記のマークが入ったものをご使用下さい。

●DVD規格に準拠したDVD
※右記のマークが入ったものをご使用下さい。

■次のディスクは本機では再生できません。
※DVDオーディオ、SACD、音楽CD（およびVCD、MP3、JPEGディスク）以外のCD、DVD-RAM。
※録画機器、録画状態やディスク製造上の問題で再生できないディスクがあります。

■ディスクを取り扱う時のご注意

●ディスクは、必ずラベル側を表側にし、がたつかない様に、確実に装着して下さい。
傾いたまま装着し、動作させると本体の故障の原因となりディスクも傷つきます。
●ディスクを持つ場合は、ディスクの記録面を手で触れない様にし、ディスクの中心の穴と外周を指ではさんで持って下さい。
●指紋やほこりによるディスクの汚れは、音質劣化の原因になり、ひどい場合はディスクが動作しません。
●記録面の指紋、ゴミ等がある時はやわらかい布で、中心から外側に向かって軽くふきます。
●使用後のディスクは、ゴミや汚れを防ぐため、必ずケースに入れて保管下さい。

必ず守って下さい。

●ベンジンやシンナー、アルコール、レコードクリーナー、静電防止剤等の化学溶剤は、ディスクをいためる事がありますので使用しない。
●ラベルなどを、記録面に貼らない。
●ペンなどでディスクに書き込みをしない。
●ディスクを無理に曲げたり、そらしたりしない。
●直射日光が当あたるところや、暖房器具のそばなど、高温や湿気の多いところに保管・放置しない。

■ディスクを再生する時のご注意

●再生中に、本体をたたいたり、動かしたりして振動を与えないで下さい。
画像・音飛びや故障の原因になります。
●ディスクトレイには、ディスク以外のものを、絶対に入れないで下さい。
●ディスク再生中は、ディスクドアーの開閉は絶対に避けて下さい。必ず 停止ボタンを押し、ディスクを完全に停止させてからドアーを開閉下さい。

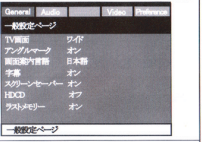
★お願い★ データの破損について

お客様の取扱いや、静電気、電気的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクや データが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

DVD操作前の機能設定

リモコンの「(25)設定キー」を押し、設定ページをテレビ画面に表示させます。その後、同じリモコンの「(6)矩定キー」と「(7)、(26)、(27)、(28)上下左右キー」で選択と確定操作をします。

General(一般)設定ページ



1. TV画面(画面タイプの選定)
＊4:3PAN SCAN…接続したテレビが
通常の 4:3の画面比率の場合、画面全体に表示
されます。しかし、若干拡大されますので、
ワイド映像を再生した時に左右が欠けます。
＊4:3LETTER BOX…接続したテレビが通常の
4:3の画面比率の場合、これにあわせて
映像全部が表示されます。ワイド映像の場合、上下に
黒い帯が表示されます。
＊16:9…接続されたテレビが16:9
ワイド画面比率の場合、この画面比率に
従った映像が表示されます。

2. アングルマーク
DVDソフトの中には、違った角度から見た場合の
映像も記録してあり、この場合、「(23)アングルキー」を
オンしておくと、マークが表示されます。

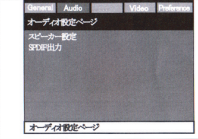
3. 画面表示言語
メニュー画面設定時の使用言語を選定します。
(日本語と英語のいずれかを選定できます。)

4. 字幕
字幕表示の入／切を設定します。

5. スクリーンセーバー
スクリーンセーブ(画面節約)機能の入／切り)を
設定します。「オンの場合、DVDの停止モードや、
DVDドアーが開閉されたまま、或いはディスク挿入が
ない状態が60秒以上続いた場合、テレビ画面は
DVDマークが移動するセーブ画面になります。

6. ラストメモリー
オンした場合、前回鑑賞していたDVDソフトを途中で
停止した箇所から再生を開始します。
オフにしますと、常にDVDの最初から再生します。

Audio(オーディオ)設定ページ



1. スピーカー設定…ダウンミックス設定
※ LT/RTを選択した場合、再生DVDソフトの右と左の
オーディオチャンネルが別々に記録されておれば、
左右分かれた音声が再生されます。
※ ステレオを選択した場合、左右の音声が
ステレオの状態で再生されます。

2. SPDIF設定
※ SPDIFオフ…本機に外部アンプが接続されて
いない場合。
※ SPDIT/RAW…5.1chの音を再生する為、本機と
外部アンプが同軸ケーブルで接続されている場合。
※ SPDIF/PCM…本機内蔵のドルビーデコーダーを
動作させる場合。

DVD操作前の機能設定

Video（ビデオ）設定ページ



1. ビデオ出力
   本機がテレビに接続されている場合、Cvbsを選択します。
2. シャープネス
   画質のくっきり度を設定します。
3. 明るさ
   画面の明るさを設定します。
4. コントラスト
   画面の明暗の対比を設定します。

■お知らせ
1. ビデオ信号カラー方式は、NTSC方式です。
2. 設定画面の中で「Preference」ページが表記されていますが、この機能は日本では必要ありませんので、機能を停止させて工場から出荷しております。故障ではありません。

DVDの基本操作

DVD操作をする前に、確実にテレビと接続されている事を確認して下さい。
1. 接続したテレビの入力モードをDVDに切り替える
2. 「(2Ø)電源スタンバイ」キーを押して、電源入りモードにする。(本機の電源スイッチがオンになっている事を再確認する。)
3. 再生するDVDソフトをDVDドアーを開けて、真ん中の回転軸にカチッと音がするまで、しっかり取り付ける。
4. 「(1Ø)再生・一時停止」キーを押す。
5. この後、タイトルメニューが自動的に表示された場合、移動キーで、それぞれのモードを確定キーで設定した後、再生ボタンをおす。



※注1：
DVD/CDを本体に装着後、記録された情報量により、読み取りに時間がかかる場合があります。
その時は、テレビ(又はモニター)にメニュー又は、記録内容が表示されるまで、お待ち下さい。

CD/MP3-CDの基本操作

DVD装着と同じ方法でディスクを装着する。

★お願い★
記録時の状態によりMP3-CD再生中に動作が固定される場合があります。そのときは、電源スタンバイスイッチを一旦オフにして、再度オンして再生を開始してください。

■フォルダー記録情報がないディスク
記録情報を読み取り後、再生が自動再生されます。

■フォルダー記録情報があるディスク
1)記録情報を読み取り、テレビ画面にフォルダー情報が表示されます。
2)表示された後、好みのフォルダー(或いはトラック)を移動キーで選択し、ENTER(確定キー)を押す。

★MP3-CDの場合★
「(14)プログラム」キーを操作する事で、トラック表示とフォルダー表示の切換が可能です。
＊プログラムキーを押すごとに、「フォルダー再生」⇔「ファイルリスト」交互に切り換ります。
＊「フォルダー再生」：フォルダーとその名前が表示されます。・・・・フォルダー検索に有効です。
＊「ファイルリスト」:フォルダーに関係なく記録されている全トラックが表示されます。・・・・トラック検索に有効です。

3)選択後、「(10)再生」キーをおす。
曲の選択は、上下左右移動キー或いは、「(21)番号」キーでトラック番号を直接入力して選択可能です。
4)停止は「(13)停止キー」を押します。 次に本体の電源を入れたまま、再度、再生する場合は、「(10)再生キー」をおします。

■他トラックへの移動は、リモコンの「(29)次へ進むと(30)前へ戻る」キーで移動させます。
■早送り/早逆戻りは、リモコンの「(8)戻ると(9)進むキー」で操作します。
2倍、4倍、8倍、16倍、32倍のスピードが選択可能です。

DVD/CDのいろんな操作

画面表示操作

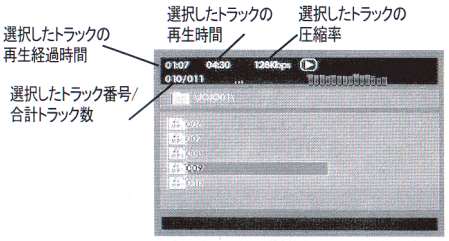
画面表示

「(2)画面表示」キーを押して操作します。

DVD
このキーを押すごとに、
「タイトル再生経過時間⇒タイトル再生残り時間⇒チャプター再生経過時間⇒チャプター再生残り時間⇒表示無し」と切り替わります。

CD
このキーを押すごとに、
「シングル(トラック)再生経過時間⇒シングル(トラック)残り再生時間⇒全トラック再生経過時間⇒全トラック再生残り時間」と切り替わります。

CD/MP3-CD 記録情報が表示され、好みのトラックを選択した後、このキーを押すと以下が表示されます。



DVD アングル設定

アングル

DVDソフトの中には、同じシーンを違った角度で記録されたものがあります。その場合、「(23)アングル」キーを押すことで、違った角度での鑑賞が可能です。

DVD ズーム再生

拡大

「(32)拡大」キーを押すごとに、2倍⇒3倍⇒4倍と映像が拡大されて再生します。

L/R(カラオケ音声チャンネル切り替え)

L/R

「(17) L/R(カラオケ音声チャンネル)」キーを押すごとに、左モノラル⇒右モノラル⇒ミックスモノラル⇒ステレオ と切り替わります。
(カラオケ未対応のDVDには機能しません。カラオケCD・VCDに有効です。)

DVD/CDのいろんな操作

DVD/CD/MP3-CDプログラム再生

DVD

タイトル番号・チャプター番号を選択してプログラム再生の設定をします。

1. 「(5)メニューキー」でメニュー画面を表示します。
2. 移動キーと確定キーでチャプター画面を選択します。
3. 「(14)プログラムキー」を押します。
4. 移動キーと「(21)番号)キー」で好みのチャプター番号をおします。(自動的に再生リストの1から順に登録されます。最大20曲まで登録されます。)
5. 移動ボタンで、メニュー画面に表示されている「スタート」を選び、「(10)再生キー」を押すと、リストに従って再生を開始します。

CD/MP3-CD

1. 自動再生 或いは トラック情報が表示されたら、「(14)プログラムキー」を押します、
2. 「(21)番号キー」で好みのトラック番号を選定します。(自動的に再生リストの1から順に登録されます。 CDで最大20曲まで、MP3-CDで50曲まで登録可能です。)
3. 移動ボタンで、メニュー画面に表示されている「スタート」を選び、ENTER(確定)確定キーを押すと、リストに従って再生を開始します。

★ご注意★ MP3ファイル記録時の状態によっては、この操作が出来ないMP3-CDもあります。

※ リストから個別に解消・訂正する場合は、「(38)取り消しキー」を押します。
※一度に全部のリストを解消する場合は、再生中に、プログラム設定メニューから、「停止」を選択します。

DVD/CD/MP3-CD繰り返し再生

「(37)リピート」キーを押して設定します。

DVD

リピート



1回押し:チャプター単位で繰り返し再生
2回押し:タイトル単位で繰り返し再生
3回押し:全部の繰り返し再生
4回押し:通常再生に戻ります。

CD/MP3-CD

1回押し:トラック単位で繰り返し再生
2回押し:全部の繰り返し再生
3回押し:通常再生に戻ります。

DVD/CD/MP3-CD AB反復再生

A-B再生



「(36)AB反復再生」キーを押します。
1回目押しでA点を設定
2回目押しでB点を設定すると、A-B間を自動的に反復再生します。
3回目押しで通常再生に戻ります。

DVD スロー再生

スロー



「(15)スロー」キーで操作します。
DVDを正常再生時、キーを押すごとに、再生スピードが
1/2 ⇒1/4⇒1/8⇒1/16⇒
と切り替わります。

FMラジオの受信

1. 75Ωの外部アンテナを本体右側面のFM ANTに接続します。
2. 「(1)DVD/FMキー」を押してFMモードに切り替えます。

DVD/FM



3. 「(39)オートスキャン」キーを押して自動選局をします。

オートスキャン



4. 「(29)、(30)チャンネルアップ/ダウン」キーを押し、好みの局を選択します。
5. 微弱電波のため、好みの放送局が自動選局で検出・記憶がされなかった場合は、リモコンの「(8)と(9)の戻ると進む」キーで手動で調整してします。
6. 「(19)ステ/モノ」キーで、ステレオ受信とモノラル受信とを切り換えます。ステレオ受信の時、雑音が大きい場合はモノラルで受信します。



ステ/モノ

SDメモリーカード ・ USBメモリーについて

本機で使用可能のSDメモリーカード

●SDメモリーカード、miniSD・microSDカード（専用アダプターが 必要です）が使用可能です。
●使用可能なSDメモリーカードの容量は、4GBまでとなりますが記録された情報を読み取るのに、多少時間がかる場合がありますので、読み取りが完了し、テレビ画面に表示されるまでお待ち下さい
●使用可能領域は表示容量より少なくなります。
※4GB以上のSDモリーカードに関しては動作を保証していませんので、出来る限り4GB以下の物をご使用下さい。

これらメモリー機器の取扱い注意

●これらをを取り外す際には本体の電源をお切りください。
●オリジナルで貼られているラベルははがさないで下さい。また新たにラベルやシールを貼らないで下さい。
●これらメモリーに鉛筆やペンで文字などを書かないで下さい。そのメモリーの故障、データ損失の原因になります。
●メモリー内のデータはバックアップを取っておくことをお勧めします。
※メモリー機器本体や、記録されてりうデータに関しての保証は致しませんのでご注意下さい。
●煙が出たり、変なにおいがする等異常を感じたら、すぐにご使用をやめ、電源をお切り下さい。
●これらメモリー機器の分解や改造は絶対にしないで下さい。
●これらメモリー機器にはプラスチック、金属部品を含んでいます。 燃えると危険ですので、廃棄する場合は各自治体の指示に従ってください。
●これらメモリー機器を挿入したまま本体を移動しない。移動中に落としてしまったり、物に当てるなどして破損したりけがをする原因となります。
●SDメモリーカードの保管場所に関して、
・湿気やホコリ、油煙の多い場所で使用、保管しない。
・直射日光の当たる場所やストーブやヒーターなどの熱源のそばで使用、保管しない。
・密閉された自動車の中（とくに夏期）などに長時間放置しない。
●SDメモリーカードの端子部に指や金属で触れない。故障の原因となります。
●SDメモリーカードに物を当てたり、投げる、落下させる等の強い衝撃を与えない。
●メモリー機器の種類によっては処理速度が遅い場合があります。

本機で使用可能のUSBメモリー

●本機で再生可能ファイル形式はAVI, JPEG、WMA MP3、のいずれかで、DRMコピープロテクト（著作権保護）がなされていないファイルのみです。
★ これらファイル形式に関しては次ページの再生可能ファイル形式を参照ください。
●本機とパソコンをUSBケーブルで接続して音楽ファイルや画像ファイルを再生することはできません。
●USBハブには対応しておりません。
●容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
●U3機能対応・指紋ロック・セキュリティ機能が付加されているUSBメモリー機器には対応しておりません。
●USBメモリー機器は、1パーテイションの条件で動作します。
※8GB以上のUSBメモリー機器に関しては動作を保証していませんので、出来る限り8GB以下の物をご使用下さい。
●ハードディスクタイプのUSB機器は動作が不安定になる恐れがあります。
●以下の製品については使用できません。
アップル製デジタルミュージックプレーヤー
「i-pod／i-Phoneシリーズ」

ソニー製デジタルミュージックプレーヤー
「ウォークマンシーリズ」

松下電器制SDオーディオプレーヤー
「D-snapオーディオシリーズ」

東芝製デジタルミュージックプレーヤー
「gigabeatシリーズ」
●本機は全てのUSB機器との動作互換を保証するものではありません。

USB/SDカード再生

★重要なお願い★
1. USBメモリー/SDカードにデーターが入っていない状態　或いは、挿入されていない場合は、リモコンの「(12)USB/CARD(USB/SD切換キー」を押さないで下さい。
2. 動作がおかしくなったり、フリーズした場合主電源を切り、再度、主電源を入れて下さい。

再生可能ファイル形式

MP3 ※1　WMA　JPEG ※2　AVI ※3

※1 ISO9660に準拠したMP3方式で圧縮された音楽ファイル。

※2 ・ファイルシステムISO9660に準拠　・拡張子JPG
・特殊文字のないファイル名
・ファイルサイズ　10MB以下
・フォーマット　BASELINEのみ
以上のファイル形式である事。

※3 記録されたときの音声コーデックの条件により、音声が途切れる時があります。

⚠ 注意　記録状態により音とびや映像が乱れたり、再生できない場合があります。

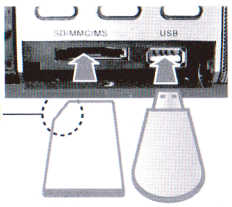
メディアの装着

1. 本体前面下側にある、保護ドアーにあるノブをつまんで下側に開ける。
★お願い★
このドアーを必要以上に強く下側に押すと破損する恐れがありますので、ゆっくりと軽く下側に押して開けてください。



開ける

2. USBとSDカードを以下の様に確実に最後まで挿入する。



角がカットされた側を左にして奥までまっすぐ差込む。

再生

★重要なお願い★
1. これらのメディアを再生する場合は、DVDあるいはCDを本体からはずしておいて下さい。
2. これらのメモリーを抜き取るときは、必ず電源をスタンバイモードに してから、抜き取って下さい。

メディアを本体に挿入した後、
1. リモコンの「(12)USB/カード切替」キーを押します。



キーを押すごとに、
USBモード⇔SDカードモード交互に
切り替わります。
(これは、DVD/CDディスクがない状態での操作となります。)
2. USBモード・SDカードモード共にフォルダーがある場合は、そのフォルダーも接続されたテレビ画面に表示されます。
3. 移動キーで好みのトラック或いはファイルを選択します。
4. 選択後ENTER(確定)キー　或いは　再生キーを押すと再生を開始します。
5. 停止は「(13)停止」キーを押します。

CDからUSBメモリーにMP3音楽録音

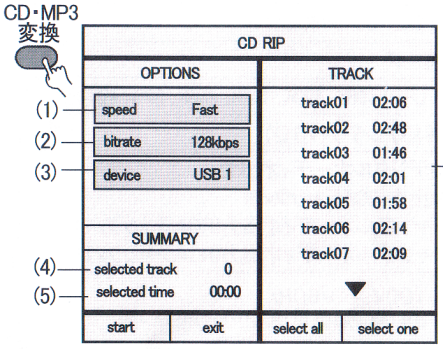
★重要なお願い★
1. USBメモリーに既に記録されている重要なデータは必ずバックアップ保存しておいてください。
2. CDからUSBに録音をした後にUSBを再生したい場合は一旦、電源を切り
   USBを抜き取り、電源を再度入れなおしてから、差込み再生をしてください。
3. 入力無効やフリーズした場合は、主電源を切り再度、電源を入れてください。

1．記録先として、USBフラッシュメモリーをを専用端子にしっかり確実に挿入します。
2．MP３音楽コピーを作成したいCDソフトを本機に装着します。

ご注意

＊USBフラッシュメモリーに空き容量がないと記録できません。
＊本機ではUSBに記録されているデータを 削除することはできません。
＊録音中は、本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
＊メモリー容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
＊以下のメニュー表示欄で、「device none」と表示されましたら、USBメモリーの読み込みが
　されていませんので、他のUSBメモリーに交換するか、メモリーがフルになっていないか、パソコンで
　チェックして下さい。
＊すでに途中まで録音されている場合は、本機が未登録部分を探して録音します。
　上書きで録音はできません。
＊本機ではフォルダー名やファイル名の入力はできません。
＊本機ではMP3/WMAファイル形式のディスクからの録音はできません。市販の音楽CDのみとなります。

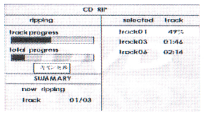
3．リモコンの「(16) CD・MP3変換」キーを押すと、以下のメニュー画面が表示されます。



(1) 録音スピード
(2) ビットレート(圧縮率) 工場出荷時設定は
128kbsです。ENTER(確定)キーを押すごとに
「96K⇒128K⇒192K⇒256K⇒320K⇒96Kに戻る」
と、設定変更が可能です。
(この数値が大きいほど、音質ははよくなり
ますが変換後のファイルサイズは
大きくなります。)
(3) 録音先メディアの検出状態
(4) 選択したトラックの数
(5) 選択したトラックの再生時間
(6) 録音元のCDトラック名と再生時間

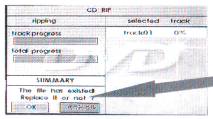
4．希望のCDトラック名(番号)欄に、「移動キー」で移り、好みのトラックを同じく移動キーで
選んだ後、確定キー押します。(選んだトラック番号の頭にチェックマークが入ります)。

5．



選択完了後、移動キーで「START(開始」欄に移動し、確定キー
を押すと変換録音が開始し、左のメニュー画面に切り替わります。

＊同じトラック名が既に以前に記録されてある場合は
メニュー画面の下側に「既に同じファイル名があります。
上書きしますか？」と表示されますので、上書きの場合は「OK」を、
違う場合は「キャンセル」を選択して、確定キー押します。



ここに表示されます。

6. 終了後は、移動キーでメニュー画面の「exit」にあわせ、確定キーを押して下さい。
7. 変換コピーされた音楽は、記録したメディアの中の「RIPPING」というフォルダーに保存されています。

⚠ ご注意
■録音中や録音画面表示中は振動を与えたりカードを抜いたりしない下さい。
■本機にはFMラジオからの録音機能はありません。

製品仕様

DVD部	形式	フロントローディング、縦置きメカニズム
	カラー方式	NTSC方式
	スロースピード	1/2、1/4、1/8、1/16
	早送り/早戻しスピード	2倍、4倍、8倍、16倍、32倍
	拡大	2倍、3倍、4倍
	プログラムメモリー	CD:最大20曲、 MP3−CD:最大50曲
対応メディア他	対応メディア/フォーマット	DVD, DVD-R/RW、オーディオCD、CD-R/RW
	対応ファイルフォーマット	DVD−VIDEO, MPEG-4(AVI), VIDEO-CD, CD-DA, MP3, WMA,、JPEG(＊)
	その他対応メディア	SDメモリーカード、MMC, USBフラッシュメモリー
チューナー部	バンド/受信周波数	FM 76.0−108MHz
	周波数プリセット数	最大50局
アンプ部	音声出力	最大 2Wx2
	スピーカードライバーサイズ	60mmコーン型
	ユーザーインターフェース	USB 2.0, SD/MMCカード
	CPRM機能	VRモード
	MP3変換・コピー機能	ビットレート(96K、128K、192K、256K、320kbs選択)
端子	入力	FM外部アンテナ(75Ω)
	出力	同軸デジタルオーディオ出力 映像出力(RCAジャックx1) 右チャンネルオーディオ出力(RCAジャックx1) 左チャンネルオーディオ出力(RCAジャックx1)
総合	電源	AC 100V、50/60Hz DC 3V(単3形乾電池x2)・・・リモコン用
	消費電力	15W
	寸法(mm) (本体のみ)	400(幅) X 195 (高さ) X 60 (奥行き)
	(スタンド込み)	400(幅) X 245 (高さ) X 110 (奥行き)
	重量	(本体)約1. 3Kg、 総重量 約1. 9Kg
付属品	■リモートコントロール ■本体用スタンド ■AVケーブル ■取扱説明書 ■単3形乾電池(2本)	

＊JPEG:・ファイルシステムISO9660に準拠 ・拡張子JPG ・特殊文字のないファイル名
・ファイルサイズ 10MB以下 ・フォーマット BASELINE, 以上のファイル形式である事。
＊上記の内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。 あらかじめご了承お願いします。

故障かな？と思ったら

長時間使用の場合、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

修理を依頼する前に、この表で症状をお確かめください。 これらの処置をしても問題が解決しない場合には購入された店舗、または当社までご連絡ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処　置
システム全体に共通	電源が入っているのに音が出ない。	音量調整レベルを再確認　或いはMUTE(消音)スイッチがオンになっていませんか	両方をもう一度チェックしてみる。
	音の位置が定まらない 左右の音が逆になる。	接続コードが左右逆に接続されていませんか。	外部機器との接続の右・左の接続をチェックしてみる。
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差し替えてみる。
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか。	⊕⊖を正しく入れる。
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。
	他の機器のリモコンで、本機が誤動する。	当社製の機器を同時に使っていませんか。	本機と各機器の距離を離すか、各機器の電源を切る。
ラジオ	放送がうまく受信できない。	アンテナは接続していますか。	アンテナを接続してみる。
	放送がうまく受信できない。 雑音、ひずみが多い。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを使用してみる。
		送信所が遠かったり、アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみる。 屋外アンテナを使うのも一つの方法です。
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器の距離を離すか、各機器の電源を切る。
		近くで携帯電話を充電していませんか。	
		アンテナが電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離してみる。
ディスク（DVD／CD）	テレビに映像が映らない。 画面サイズがおかしい。	テレビの入力は正しいですか。	本機の接続に合わせて、テレビのビデオ入力を切り換える。
		設定画面でビデオ出力を正しく設定しましたか。	設定やり直してみる。
	ディスクを入れても再生されない。	規格外のディスクではありませんか。	規格と適合したディスクに取り替える。
		本機で再生できるディスクですか。	ディスクのジャケットを確認する。
		寒い所から暖かい所に移動して急激な温度変化はありませんか。	レンズ部の露つきが考えられますので、約一時間待ってから使用してみる。
		回転している様だが、何か異音が聞こえていませんか？	ディスクをもう一度、しっかりと正しく装着し直してみる。 ラベル側が表になっているか再確認して見る

故障かな？と思ったら

	こんなときは	ここをご確認ください	処　置
ディスク（DVD／CD）	音声言語、字幕言語が切り換わらない。アングルを変えられない。	再生中のディスクに、複数の言語や字幕、アングルが記録されていますか。	ディスクのジャケットを確認してください。
	WMA/MP3ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行なったWMA/MP3ディスクをご利用ください。
	特定の箇所が正常に再生しない。操作してもうまく動かない。	ディスクが汚れていませんか。	柔らかい布などでふいてみる。
SD／USB	操作ができない。	USBとカードは共に正しく入っていますか。	共に正しく入れなおしてみる。
		本機で使用できないカードではありませんか。	カードのタイプを再確認してみる。
		DVDモードに戻したり、停止キーを押しても、DVDモードに切り替わらない。	主電源を切り、電源コードを抜いた後、再び電源コードをつなぎ、主電源を入れ直してみる。
	再生できない。	録音データにDRM（著作権保護機能）がかかっていませんか。	本機では著作権保護機能のかかったデータには対応していません。

Q&A（よくあるご質問）

マルチチャンネル音声を楽しむにはどのような機器が必要か	●光デジタルケーブル ●同軸デジタルケーブル ●光　あるいは　同軸デジタル端子対応AVアンプ ※お近くの量販店にてお買い求めください。
海外で買ったDVDビデオビデオCDは再生できるか	●海外のDVDソフトやビデオCDの再生については当社は保証致しません。
映像方式がPALのディスクは再生できるか	●再生できません。（日本国内のテレビ映像方式はNTSC方式であり、PAL方式には対応していません）
ビデオに録画できるか	●ほとんどのDVDはコピー禁止処理がされており、録画できません。